



会長あいさつ

当会は、利用者自らが主体となって、石川線の必要性について考え行動するために発足されました。近年では様々な取り組みの成果か、利用者の増加がみられましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により公共交通全般の利用者が減少し、石川線も非常に厳しい状況にあります。

コロナ禍で私たちの生活様式が変化する中であっても、石川線は生活の足として、地域になくてはならないものだと考えています。私たちの大切な生活の足を守るため、皆様とともに利用促進に向けて活動してまいりたいと思います。今後ご協力のほどよろしくお願いいたします。

北陸鉄道石川線の利用促進を考える市民の会
会長 垣坂 太佳盛

令和3年度活動報告

令和3年 9月 7日 役員会（書面表決による開催通知発送・9月20日決議）
11月14日 市内3駅及び車両（鶴来駅）清掃実施
12月 初詣の運行に関するチラシの回覧



石川線・浅野川線
利用促進キャラクター「のるぞう」

活動風景

市内3駅（野々市工大前駅・野々市駅・押野駅）及び車両（鶴来駅）の清掃

実施日 令和3年11月14日（日）くもり

参加者 町内会 15名（本町二丁目、高橋町、本町一丁目、二花自治、丸木、押野）
金沢工業大学学友会 20名 カミーノタ暮れ事業 2名

昨年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止といたしましたが、今年度は感染防止策として、町内会の皆さんと工大生さんの清掃場所を分けて取り組みました。

町内会とカミーノタ暮れ事業の皆さんは、市内3駅において、ホーム待合室の清掃、自転車の整理整頓、落ち葉収集などを行い、工大生さんは、乗車体験をかねて、鶴来駅へ移動し、車両内の窓や手すり等の拭き掃除などを行いました。

参加した学生さんの感想（一部抜粋）

- ・普段利用している車両を自分の手できれいにできたことがよかった。
- ・周りの人と協力してきれいにすることができた。
- ・初めて利用したが、電車から見える景色が新鮮で楽しむことができた。
- ・電車の清掃や鶴来散策など貴重な体験ができてよかった。
- ・もう少し多くの車両を清掃したいと思った。

